



表紙のこぼれ

毎年恒例となっている、振り袖を着た女性の表紙の写真。今年は、市内のお琴の先生にお願いし、琴を楽しむ風景を撮影しました。

モデルさんたちの“いい表情”を引き出すためにいろいろ話をしますが、年々、自分とモデルさんたちの年の差を強く感じるようになってきました。少し寂しさも感じましたが、華やかな気分に包まれ、一足早いお正月気分を味わいました。

市民の動き

人口/87,080人 (前月比+116人)

(外国人登録者4,222人含む)

男性/43,934人 (前月比+46人)

女性/43,146人 (前月比+70人)

世帯数/30,825世帯 (前月比+79世帯)

平成20年12月1日現在



2009年(平成21年)1月1日発行 第91号

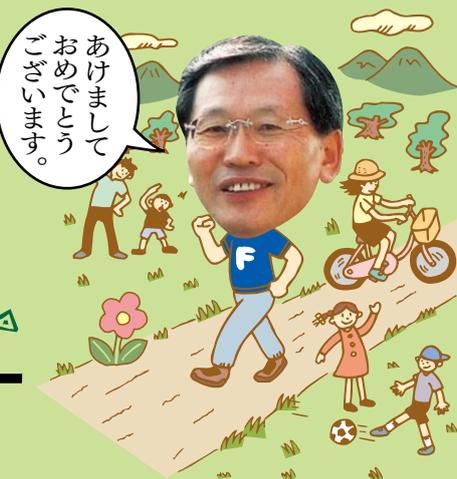
編集・発行/
袋井市役所総務部秘書広報課広報広聴係
〒437-8666
静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1
TEL 0538-43-2111(代表)
【ホームページ】
<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>
【携帯サイト】
<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/i/>
【Eメール】
hisyo@city.fukuroi.shizuoka.jp

100 古紙配合率100%再生紙を使用しています

原田市長の

さんぽみち

散歩道



昨年、世相を表す漢字は、「変」であった。
年金問題や振り込め詐欺、秋葉原の無差別殺傷事件など、今までの日本では考えられない事が起こった。年の後半には、世界同時不況になり、非正規労働者の失業や新卒者の採用内定取り消しなど大変困った事態になっている。
何となく不安で、落ち着かない、殺伐とした世の中だからこそ、今年は、心の充実を図る「袋井の心の交流元年」にしたいと思う。

ろつとする企画であり、想像するだけで、スケールの大きさと歴史の妙味に心が躍る。
郷土の偉人でもう一人、同じく100年前に、台湾で地下ダムを建設した鳥居信平の胸像が台湾の篤志家から袋井市へ贈られることになった。周りの環境を破壊しないで造ら

「心の交流」

る。すべてのベトナム人留学生に、在日中に一度は浅羽佐喜太郎の碑へお参りしてもらうため、学生を市民民泊で迎えようという内容である。100年前の浅羽佐喜太郎の遺志を継いで、今に生きる私たちが将来の日本とベトナムの友好の架け橋になれることを望んでいる。
遠州三山をはじめとするお寺や宿坊を利用して、市観光協会が始めた「三日坊さんの旅」はとてもいい事業だと思

う。全国から心の安らぎを求めて袋井へ来てもらい、お寺で説教を聞き、座禅を組み、精進料理を食べて、心と体を健康にして、帰っていただくという社寺の多い袋井の特長を生かしたものだ。この事業が次第に発展して袋井が心の安らぎの全国的なメッカとなることを期待している。